

緑風

NO. 29

令和6年7月15日発行
佐沼高等学校同窓会

在京佐高会

【在京佐高会会長の挨拶】
多くの同窓生の皆様に

参加いただけるよう

お待ちしております！



在京佐高会会長

鈴木 和敏

(高19回生)

コロナから解放されて1年経ちました。

在京佐高会同窓生の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。そして日頃、在京佐高会同窓会の活動と運営に際しましては、ご理解とご協力を賜りまして心から感謝申し上げます。

さて私事ですが、これまで在京佐高会活動に貢献されてこられた菊地会長より、令和6年度から会長を引き継ぐことになりました「高19回生の鈴木」と申します。私は佐沼生まれの佐沼育ちで、現在は横浜に住居を構えて暮らしております。

今年の元旦に、「能登半島地震」が発生しました。その後も4月までに東北や四国で震度5以上の地震が5〜6回発生しました。地震国日本とはいえ、異常な頻度で地震が発生しているといえます。私達が住む関東地域でも、「関東大震災レベル」の地震発生確率がこの30年以内に70%と

予測されています。阪神・淡路大震災直後には耐震基準が明示され、その後の建築物については基準を満たしている筈ですが、だからと言って安心はできません。私は、身近の家具等も倒れないよう対策に気を付けています。皆様も「自分の命は自分で守る」の原則を踏まえ、対策や方法を日頃から考えて実践したいものです。

さて、菊地前会長は「在京佐高会」の発足から現在までの活動・歩みを「緑風28号」において、明確にしてくださいました。発足は昭和42年1月22日です。以来、会員の皆様のご理解とご協力をいただき活動も継続、在京佐高会の運営・開催が管々と継続されて参りました。

「同窓会」は同じ学び舎で育った人達が故郷や学生時代を懐かしんで共鳴・共感、昔話を楽しみながらお互いの親睦を深める会でもあります。佐沼生まれ佐沼育ちの私は、「三つ子の魂百までも」という気持ちで「佐沼の地として母校の佐沼高校」には今でも郷土愛・母校愛を感じ続けております。これからも多くの同窓生の皆様と「在京佐高会」を大いに盛り上げて参りたいと思っております。皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。昨年の「在京佐高会総会・懇親会」の席では「会費二千円値上げ」に関するご提案をさせていただきましたが、皆様にはご理解、ご承認いただきました。

紙面をお借りして、茲に改めて感謝、御礼申し上げる次第です。今年の総会は10月6日(日)、八芳園で開催を予定しております。これまで以上に参加を呼び掛けていただき、多くの皆様が参加され、有意義で楽しい総会・懇親会になりますよう願っております。どうか宜しくお願いいたします。

【在京佐高会記念写真】―期別撮影―



※同じ卒業年そして卒業年の近い方々と特別記念撮影の思い出写真です。



我等佐高生！

上段右、3〜8期生

上段中、9〜12期生

上段左、13〜14期生

下段右、15〜16期生

下段中、17〜18期生

下段左、19期生の皆様

【佐沼高等学校同窓会会長へ挨拶】 在京佐高会発展をお祈りします！

会長 氏家 良典様



在京佐高会の皆様
におかれましては、
益々ご健勝のこと
とお慶び申し上げ
ます。

併せて日頃より同窓会の運営にご理解とご協力に厚く感謝致しております。初めに、永きに渡って在京佐高会会長を務めた菊地拓朗会長に感謝と敬意を表します。在任中には50周年記念式典、記念誌作成等事業を実行され大変お疲れ様でした。

【佐沼高等学校校長先生へ挨拶】 4月人事異動により着任しました！

佐沼高等学校校長 加賀谷 亮先生



佐沼高校同窓会会員
各位におかれまして
は、日頃より本校の
教育活動にご支援・ご
協力を賜り、深く感
謝を申し上げます。

本年4月の人事異動により着任いたしました加賀谷亮(かがや まこと)と申します。私自身、登米市の高校勤務は二度目であり、皆さまとのご縁を感じております。微力ではありますが、誠心誠意取り組んで

後継の鈴木和敏新会長には引き続き、在京佐高会の牽引宜しくお願い致します。先日、旧校舎の跡地を見る機会がありました。旧校舎は全て取り壊され、新校舎建設の基礎工事が進んでおります。跡地に見える光景は皆さん御存知の旧図書館と正門から入ってすぐ目にする幾種類かの庭木でした。校長先生のお話しによればできるだけ残しておきたいとのことでした。

昨年コロナウイルスが二類から五類に移行したことにより、4年振りに本部同窓会総会を8月に開催しました。来賓として在京佐高会の菊地会長、在仙同窓会の五十嵐新会長に御祝辞を戴きました。

参りたいと存じます。ご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。令和6年度、本校は創立百二十二年を迎えました。卒業生は全日制・定時制合わせて2万8千名余りを数え、内外に数多くの人材を輩出、名実ともに宮城県の大伝統校・地域拠点校として歩んで参りました。現在、本校の敷地では令和7年初秋に完成予定の新校舎建設を進めております。在校生が学校生活を送っている3階建て仮設校舎には、学校行事等で多くの卒業生の皆様においていただいております。当時の改装前校舎は既にありませんが、新たな未来に期待を寄せていただきながら

当番幹事の高三4回生の皆さんに3年も待ちぼうけをさせてしまいました。それにもかかわらず、参加171名と大人数を集めてもらい、大盛況にて終了しました。恒例の5月2日開校記念講話は在京佐高会の酒井正三郎(高十九回生)さんから戴きました。御存知のように中央大学で総長・学長を務められた方で生徒達に親しみ易く、解り易くお話いただきました。生徒達は熱心にメモを取り聞いておりました。私が興味を持った内容は登米市の農業生産高は宮城県内トップで、全国でも有数のポジションと聞いてたいへん驚きました。日本はこれまで工業製品輸出の見返りに、

ら在校当時の思い出や深く大きい「残り姿」を感じていただけることと思います。在校生はじめ同窓生の皆様方の母校に対する思いが、佐沼高校の「校風」となり、「伝統」に繋がるものと考えております。

昨年度は、ボート部、美術部そして定時制陸上競技部が全国大会に出場するなど、多くの部活動が県大会で入賞、東北大会に駒を進めました。このように活発な部活動、ホームルーム活動、学校行事、生徒会活動を主軸とした特別活動は望ましい人間関係の構築そして社会貢献できる献身の心と力を育み、「思いやる心」を育てる教育活動として、今年度も推進いたし

農産物輸入を拡大することによって食料自給率を下げ、関税を引き下げ続けた結果、安い食料品価格が実現したことでも今や欧米だけでなくアジアの旅行者からも食事が安い国と言われています。しかし、そろそろ「消費者目線」から「生産者目線」が必要とお聞きしました。実は、これまで私は常に生業上、消費者目線で考えて来ましたが、地域経済や地域GDPアップの為に、もう少し生産者目線での考えも持たなければと感じました。大いに勉強いたしました。結びに当り、在京佐高会のご発展とともに在京佐高会皆様のご健勝を、重ねて祈念申し上げます。

また、関係機関と連携して教員の授業力に資する実践や総合的な探究活動の時間を通して、地域や国際的な課題解決の為の教育活動を展開し、生徒の主体的な進路の選択・達成に繋がるよう取り組んで参ります。私の願いは、「憧れの佐沼高校で、充実した学びと生活を送り、目指す進路目標が達成してよかった！」と実感できる在校生を多く輩出することです。「至誠・献身・窮理・力行」の精神を忘れず良い人材を育成して参ります。皆様方には引き続きご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、ご健勝・ご多幸をお祈り申し上げます。

会費増額の背景と経緯、そして
皆様のご理解に感謝申し上げます



副会長兼会計担当
坂入 茂

在京佐高会会員の皆様、会計を担当してまいります「第17回生の坂入」と申します。紙面をお借りして感謝とお願いを述べさせていただきます。

「在京佐高会」は会員相互の親睦と母校の更なる発展に寄与することを目的として、旧制中学時代同窓生の皆様から都圏在住の同窓生の会です。これまで、会員の皆様にはご理解とご協力をいただきまして、令和5年度の総会にてご提案させていただきます。

| 令和5年度会計監査報告書 | |
|---|------------------------------|
| 令和5年1月1日～令和5年12月31日の期間 一単位円一 | |
| 収入の部 | |
| 科目 | 金額 |
| 前年度繰越 | 336,487 |
| 年会費収入 | 261,000 |
| 総会費収入 | 864,000 |
| 雑収入 | 2 |
| 合計 | 1,461,489 |
| 支出の部 | |
| 科目 | 金額 |
| 事務局費 | 107,141 |
| 総会費 | 1,010,206 |
| 会報費用 | 108,900 |
| 支出の部合計 | 1,226,247 |
| 翌年度へ繰越 | 235,242 |
| 合計 | 1,461,489 |
| 会計担当:坂入 茂(高17回生) | |
| 監査報告書 | |
| 上記の「収支報告書」について請求書領収書等の資料を確認、厳正に監査した結果、適正に処理・手続きがなされていることを報告いたします。 | |
| 監事 | 佐藤 榮記(高15回生) 菅原 洋子(高20回生) |

について説明させていただきます。物価高騰による影響が数年続き、役員一同が様々な工夫を行って節約努力をして参りましたが、それだけでは対応し切れない状況になりました。そこで役員会で協議・検討を重ね、「千円の会費を二千円に」値上げさせていただきますことになりました。ご承認いただきまして、会員の皆様には改めて感謝、御礼申し上げます。年費は「会報の発行」そして「総会準備」に伴う事務作業等を推進・維持していく資金として賄われています。今回の規約改訂を実効あるものと致します。今回は、今回ご承認いただいた「会費二千円」を会員の皆様に納入いただくことが絶対条件となります。そこでお願いです。同封の「払込用紙」をご持参の上、郵便局窓口にてお振込み手続きをお願いいたします。皆様にはご足労、お手数をおかけして申し訳ありませんが、切にお願い申し上げます。

令和5年10月22日開催の
「在京佐高会総会・懇親会」報告

令和5年在京佐高会は港区「八芳園」に於いてご来賓4名、会員85名、計89名の皆様に参加いただき、盛会裏に開催できました。振り返りますと、

第一部 総会 —在京佐高会の菊地会長と鈴木新会長の挨拶に始まり、佐沼高等学校同窓会の氏家会長、佐沼高等学校校長狩野先生にご挨拶をいただきました。また特別参加いただいた同窓生でいらっしゃる登米市の熊谷市長にご挨拶をいただいた上、総会の議案を審議しご承認いただきました。

第二部 懇親会 —佐沼高校同窓会本部事務局長白旗先生のご挨拶をいただき、登米市役所「まちづくり推進部」の皆様には「未来の登米市へ」という意気込み溢れるお話を伺いました。そして佐高ラグビー部OB会小林会長による「乾杯のご発声」をいただき、懇親会が始まりました。懇親の宴では、まずは食事をという方、知り合いの顔を探される方、来賓の方々とお話されている方々でした。そんな中、「集まれラグビー部同窓生」が壇上に集合、近況報告と部歌を斉唱してくださいました。続いて卒業年度別「記念撮影会」が始まりましたが、スクリーンには昔懐かしい木造校舎の映像が映し出され、今に至るまでの移り変わりの様子が紹介されました。

皆さんが懐かしく、母校で学んだ頃の昔に想いを馳せたように感じました。閉会前には全員で校歌斉唱、再会を約して帰路に参りました。
—編集担当、鎌田 麗—

※参加された皆さんの記念撮影写真一同じ卒業年そして卒業年の近い方々との思い出写真(IPの続きです)



【在京佐高会記念写真】—期別撮影

上段右端、20期生の皆様
上段右隣、21～24期生の皆様
上段左隣、25期生の皆様
上段左端、28期～の皆様

「集まれラグビー部同窓生」の皆さんが壇上に集合して、近況報告と部歌を斉唱して下さいました！右の写真👉



【令和6年の小さな旅】

松戸市「戸定邸・歴史博物館」を見学
懇親会も大いに盛り上がりました！



在京佐高会常任幹事

小さな旅担当

寺島 邦義

この度、在京佐高会「小さな旅」の担当をさせていただく事になりました第20回生の寺島邦義と申します。

不慣れな事もあり皆様には何かとご迷惑をおかけいたしますが、「小さな旅」をより親しみ易く、より多くの方に参加いただけるよう一生懸命頑張りますので、何卒ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年度の第21回「小さな旅」は令和6年4月6日(土)千葉県松戸市にあります「戸定邸・戸定歴史館」見学を実施いたしました。参加者は21名で男性9名、女性12名の皆様に参加協力いただき、楽しく、思い出多い旅となりました。

「戸定邸」は徳川幕府最後の将軍で、第15代将軍「徳川慶喜」の弟である水戸藩主「徳川昭武」が明治時代に住居とした、純和風建物と西洋庭園からなっております。旧屋敷内をガイドさんに案内していただきましたが、庭園には満開の桜が私達を待っていたかのように迎えてくれました。

皆さんと館内をゆっくり観覧・散策を楽しむ事ができました。歴史に触れ、春の庭園散策の後、松戸駅近くのお店で懇親会を開催しました。参加頂いたのは男性7名、女性12名の皆様で、話が弾み・笑いの絶えない「懇親会を深める機会」となりました。

今回の「小さな旅」には初めて参加の方と女性の参加者が多く、賑やかで明るく、とても印象的な旅でした。このように盛り上がった「小さな旅と懇親会」でしたが、次回のを再会を約して、散会となりました。



【次回開催のお知らせ】

次回の開催は「フーテンの寅さん」でお馴染みの葛飾区の「柴又帝釈天」を予定しております。お楽しみに…！

【新事務局長挨拶】

私が目指す佐高会のあるべき姿は？



在京佐高会常任幹事

事務局長

亀川 善悦

本年より、在京佐高会の事務局長を仰せつかりました、第29回生の亀川善悦と申します。以前より在京佐高会を憧れていた先輩役員の方々です。ボランティアとは言い、会運営での業務遂行に取り組む姿勢には大変勉強になりました。

そんな折、佐高会顧問の遠藤誠幸さんからお声が掛かりました。いきなりの事務局長補佐と云う大役を仰せつかり驚き、戸惑いました。それからは役員会や懇親会の度に諸先輩方から数々学び、どうにかここまで来ました。そして、私の目指す佐高会のあるべき姿は「会員の皆様同士が、親睦を深め、寄り添い助け合う！」ことだと考えております。その為には、皆様の更なるご理解とご協力が不可欠です。役員会の活動費用や、在京佐高会会報「緑風」の製作費用等は皆様からの年会費で賄っております。今年から二千元になりましたが、これからもどうか、私たちの在京佐高会を皆様と一緒に未来永劫、守り続けて行きますように！

【編集後記】ご提案お待ちしております



在京佐高会常任幹事

緑風編集担当

鎌田 麗

今年度、在京佐高会は新しく鈴木会長を迎えて新体制でスタートいたしました。母校の佐沼高校でも狩野先生に代わって、新しく加賀谷校長先生が赴任されました。そしてまた、「緑風」編集担当につきましても新しいメンバーでスタートしました。

「緑風29号」ではこれまでの内容を尊重、「年会費値上げ」の規約改定案のご承認に感謝と経緯の説明を会計担当にお願いしました。会員の皆様には「在京佐高会」活動に興味を持って参加していただけますよう、昨年度の「在京佐高会総会・懇親会」に関しては前頁にてご報告、写真を取り入れて楽しく懇親会を深められた様子を掲載いたしました。「緑風」編集にあたっては、会員皆様からのご提案や寄稿を大募集いたしますのでよろしくお願ひいたします。

【在京佐高会事務局】

〒343-0838

埼玉県越谷市蒲生3-3-50-807

事務局長 亀川 善悦

電話・FAX 048-971-5915

E-mail kamekawa@carol.ocn.ne.jp